

2026年2月発売予定

石田三成 — 関ヶ原への道のり 三池純正 著

せつしょ
「切所」で読み解く関ヶ原合戦と三成の実像

四六判／並製／220頁 定価 1,980円〔税込〕

朝鮮出兵から関ヶ原合戦に至るまでの武将らの日々刻々の智謀と策略と動静を臨場感ある筆致で描く。三成の実像と関ヶ原合戦の真相を最新の知見から考察した、三成ファン・関ヶ原合戦ファン待望の新刊！！

〈推薦の言葉〉

太田浩司氏（元長浜城歴史博物館館長）

「合戦へ至る経緯を、新たな研究を取り入れながら、会津・信州などを含めた広範な視野で描いていく。現在分かる石田三成と関ヶ原合戦の真相を、分かり易く教えてくれる好著である」

中井俊一郎氏（石田三成研究家・オンライン三成会代表）

「三成本人のみならず、三成をめぐる多くの人々、遭遇した事件の背景などから、その人生を多面的に考察した一書。特に関ヶ原合戦に関しては、最新の研究成果に著者独自の見解を加え、新たな合戦像を浮かび上がらせている」



〈目次〉

- 序章 プリンセス・豊臣
- 第一章 石田三成と友情を交わした人たち
- 第二章 民衆のうねりと天変地異の時代
- 第三章 二つの正義
- 第四章 石田三成と徳川家康
—— 関ヶ原のプレリナリー①
- 第五章 智将真田昌幸と石田三成の思惑

- 第六章 三成と家康
—— 関ヶ原のプレリナリー②
- 第七章 石田三成と井伊直政
—— 二人の智将の関ヶ原
- 第八章 三つの「切所」
- 第九章 関ヶ原合戦
- 終章 その後の石田家

著者プロフィール 三池純正（みいけ よしまさ）

1951年、福岡県生まれ。工学院大学工学部卒業。歴史研究家・作家。日本文芸家協会会員。戦国期の歴史の現場を精力的に踏査。現場からの視点で歴史の定説を見直す作業を進めている。主な著書に『改定新版 敗者から見た関ヶ原合戦』（洋泉社、2007年）、『真田信繁～「日本一の兵」幸村の意地と叛骨～』（宮帯出版社、2009年）、『天秀尼の生涯 豊臣家最後の姫』（潮出版社、2017年）、共著に『竹中重門と百姓の関ヶ原合戦』（洋泉社、2018年）などがある。

下記の電話、メール、FAXまたはAmazon（下記の二次元コード）よりご注文いただけます。

（株）宮帯出版社 〈担当：樋口・中岡〉 〒602-8157 京都市上京区小山町908-27

TEL.075-366-6600 FAX.075-366-3377

URL : <http://www.miyaobi.com/> E-mail : info@miyaobi.com

Amazon での
ご注文はこちら

